

市長タウンミーティングを開催しました

令和7年度第7回（通算24回目）となります今回は「2年間の振り返り」をテーマに市長が様々な世代の皆様のご意見やご提案を伺いました。

開催日時 令和7年10月4日（土）午前10時～11時30分
開催場所 こどもと福祉の未来館多目的室1号・2号
参加者 58名



市長コメント

市長に就任して24回目、令和7年度第7回となりますタウンミーティングは私が市長の任を賜りまして今月30日で2年を迎えますことから「2年間の振り返り」をテーマにこどもと福祉の未来館を会場に開催いたしました。

たくさんの市民の皆さまにご参加いただきまして、改めまして感謝申し上げます。

1時間30分という限られた時間ではありましたが、「手話言語条例の制定」、「市民が散策した際の休めるポイント（ベンチの設置）」、「デジタルの推進」など、様々なご意見・ご提案をいただきました。

いただきましたご意見・ご提案を今後の市政に活かして参りたいと考えております。有難うございました。

参加者の主な声

- 外国人の対応について、所沢市の中で課題を持ちながら、市政にあたってほしい。
- 手話言語条例を制定することになりました。快適に暮らせるまちづくり、スピード感のある市政継続をお願いします。
- 市民が散策した際に休めるポイントとなるベンチを設置してほしい。
- 高校生への2万円の給付金について、この給付金が物価高騰の影響を受けて給付されたこと、どうして給付されたのかというところを考えて、給付してほしい。
- 市長への手紙、市長タウンミーティングでの市民からの意見や要望がその後どうなったのか、途中経過を含めて公開することが本来の情報公開です。
- 介護のヘルパーさん、学校や保育園の先生たち、どこもかしこも人が足りない。ボランティア頼みでは駄目で、いろいろなアイディアを出していく必要があります。
- アナログを前提とした行政、あるいは生活、民間産業をデジタルの世界へ改革をしていただきたい。高齢者の中にデジタル難民がいると思うが、普及するよう進めてほしい。
- PTAの活動については、同じ人が役員をやっていることが多い。労力をかける人はお金を得て、役員をやらない人はお金を払う。そういった自分のこどもがいる学校で働ける環境を作れないかと思っています。